

| 授業コード / Code | 科目名 / Course Title | 担当者 / Instructor | 履修年次 / Semester | 授業形態・単位数 / Style・Credits | 必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects |
|--------------|--------------------|------------------|-----------------|--------------------------|---|
| j29211 | 環境指導法 | 本庄 眞 | 2年次・前期 | 演習・1単位 | 幼免・保育士必修 |

| 授業の概要 / Course Outline |
|---|
| 「保育指針」「教育要領」の領域「環境」に示された内容に加え、環境設定(環境教育)の重要性を理解し、その技能を習得する。 |

| 到達目標 / Attainment Objectives | ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy |
|--|--|
| 1.「保育指針」「教育要領」の環境のねらいと内容について理解する。 | A-① D-① |
| 2.体験活動を行う際の留意点を理解し、指導計画や支援のあり方を考える。 | A-② B-② |
| 3. 幼児期における環境設定(環境教育)の重要性を理解し、自ら行動しようとする。 | C-① D-① |
| 4.発表を通して、保育者の支援のあり方を考えることができる。 | B-① D-② |

| 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation | | |
|--|-----------------|-------------------------------|
| 種別 / Kind | 割合 / Percentage | 評価基準等 / Grading Criteria etc. |
| 定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written) | 0% | |
| レポート試験 Report Examination | 50% | コース地図、飼育・栽培記録、発表の内容 |
| 実技試験 Practical skill test | 0% | |
| 平常点評価 Continuous Assessment | 50% | 毎回の授業のふりかえりの提出と内容 |

| 教科書 / Textbooks |
|--|
| 「むすんでみよう子どもと自然」 井上美智子・無藤隆・神田浩行 北大路書房(2010) |

| 参考書 / Reference Books |
|---|
| ・幼稚園教育要領解説、保育所保育指針解説書、「よく分かる環境教育」 ミネルヴァ書房(2013) ・その他、必要に応じて授業で資料を配布する。 |

| 予習・復習 / Preparation・Review |
|----------------------------|
| 予習 「むすんでみよう子どもと自然」を読んでおく。 |

| 課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks |
|---|
| 授業で行った活動を自分の身近な地域で行い、発見や感想を記録・整理し、クラスルームに報告する。 |

| その他 / Others |
|--|
| 天候やコロナ感染状況などによって授業スケジュールを変更することがある。毎回の授業後に、授業のふりかえりをクラスルームに記入する。 |

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

| 授業回数 Lecture | テーマ / Theme |
|-----------------|--|
| | 内容 / Contents |
| 01 | オリエンテーション 授業展開とその留意点 |
| | 領域「環境」の位置づけやねらいを知り、授業の流れと留意点を理解する。 |
| 02 | 幼児の体験活動と環境設定(環境教育)の重要性 |
| | 「体験活動の必要性と環境設定(環境教育)」「活動における安全の配慮」について理解する。 |
| 03 | 栽培や飼育、数量や図形との関わり |
| | 栽培・飼育の重要性と要点を理解し、その計画をたてる。数量や図形とのかかわりを促す活動を理解する。 |
| 04 | 幼児と環境とのかかわり① フィールドワーク |
| | 太田山をフィールドワークする(写真撮影やスケッチなど)。 |
| 05 | 幼児と環境とのかかわり② フィールドワークの整理 |
| | (1) 太田山のフィールドワークを様々な視点から整理する。 |
| 06 | 身近な環境とのかかわり③ フィールドワークの整理 |
| | (2) 太田山のフィールドワークをコース地図として作成する。 |
| 07 | 幼児と環境とのかかわり④ 相互評価 |
| | 太田山へのフィールドワークを相互評価し、学びを深める。 |
| 08 | 身近な素材や自然物を用いた保育の実際① 地域環境の活用 |
| | 川、土、森林などを生かした環境教育(環境設定)について理解し、保育にどのように生かすかを考える。 |
| 09 | 身近な素材や自然物を用いた保育の実際② フィールドワーク |
| | 川、土、森林などを生かしたフィールドワークを行う。 |
| 10 | 身近な素材や自然物を用いた保育の実際③ 遊びの環境設定 小学校との接続 |
| | 遊びを育てる環境設定の工夫を考える。小学校との接続を理解し、保育にどのように生かすかを考える。 |
| 11 | 発表に向けた準備① 計画と準備 |
| | (1) 環境設定の表現活動に向けた計画をたて、準備や練習を行う。 |
| 12 | 発表に向けた準備② 準備と練習 |
| | (2) 環境設定の表現活動に向けた準備や練習を行う。 |
| 13 | 発表① 相互評価 |
| | (1) お互いの発表を相互評価する。 |
| 14 | 発表② 相互評価 |
| | (2) お互いの発表を相互評価する。 |
| 15 | 「環境指導法」自己評価 |
| | 環境指導法の学びを自己評価し、「自分化した」学習内容をレポートとして整理する。 |